

被表彰病院(3病院)の概要

被表彰病院名等	地域医療への貢献等
<p>か な がわけんりつせいしん いりよう 神奈川県立精神医療センター</p> <p>〔 地方独立行政法人 〕 〔 神奈川県立病院機構 〕</p> <p>精神 323床 計 323床</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療では、県精神保健福祉センター及び4県市により構築された精神科救急医療システムにおける基幹病院(休日・夜間・深夜の受け入れを行う病院)が確保する33床のうち最多の16床を有している。 ・精神科コロナ重点医療機関として、県、湘南鎌倉総合病院と連携し、精神疾患が重く、かつ新型コロナウイルス感染症に感染した患者を受け入れる体制を維持した。さらに令和6年年始に発生した能登半島地震では、専門的な研修・訓練を受けた災害派遣精神医療チームであるDPAT先遣隊(隊員4名)2隊を石川県へ派遣した。 ・患者の社会復帰に向け、「治療抵抗性統合失調症」の治療薬であるクロザピンによる薬物治療に長年取り組むとともに、令和元年度より、当時全国初となる、パルス磁場による誘導電流で特定部位の神経細胞を繰り返し刺激して、副作用が小さく安全性の高いうつ病の治療法である「反復経頭蓋磁気刺激(rTMS)療法」による保険診療を実施している。 ・令和2年度より思春期インターネット・ゲーム依存症専門外来を、令和5年度よりレインボー外来(性的マイノリティの依存症患者を対象とした外来)を開設し、新規患者の確保に取り組んでいる。
<p>こうべ しりつこうべ びょういん 神戸市立神戸アイセンター病院</p> <p>〔 地方独立行政法人 〕 〔 神戸市民病院機構 〕</p> <p>一般 30床 計 30床</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸市の基幹病院である神戸市立医療センター中央市民病院の眼科部門が独立して設立された病院であり、神戸市民の眼科領域における地域の基幹病院として、標準医療から高度先進医療まで市民に質の高い医療を提供している。 ・救急医療では、日中は当番医、休日夜間はオンコール体制により、隣接する神戸市立医療センター中央市民病院と連携し、24時間365日体制での眼科救急や全身的な症状を有する眼疾患への対応を実施した。 ・紹介受診重点医療機関の認定を受け、患者に対してかかりつけ医療機関からの紹介受診啓発を実施している。また、隣接する神戸市立医療センター中央市民病院と緊密に連携し、網膜中心動脈閉塞症に対する超急性期治療の提供、眼科急性疾患と脳梗塞への早期対応を行っている。 ・治療法がない網膜疾患(難病)に対する網膜再生医療開発に取り組んでいる。他人のiPS細胞から作製したRPE細胞凝集紐(ひも状にすることで定着率を高めた)を移植する臨床研究は、これまでに3例移植し術後1年間の評価を完了しており、現在、先進医療への申請を進めている。承認されれば、iPS細胞治療において国内初の先進医療承認となる。 ・毎日外来患者及び退院患者へのアンケートを継続し、毎週コアミーティングで検証の上、病院幹部が全件共有してきめ細かな改善に取り組んでいる。患者満足度調査では、入院・外来ともに高い満足度を維持し、入院では6年連続で満足度100%となり、患者給食の嗜好調査でも90%以上の高い満足度を維持している。

被表彰病院名等	地域医療への貢献等
<p data-bbox="164 488 395 510"><small>みなみならそうごういりよう</small></p> <p data-bbox="164 510 496 539">南奈良総合医療センター</p> <p data-bbox="177 544 483 595">〔南和広域医療企業団〕</p> <p data-bbox="256 607 403 636">一般 228床</p> <p data-bbox="256 651 403 680">感染症 4床</p> <p data-bbox="256 696 403 725">計 232床</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="564 360 1469 584">・救急医療では、年間3,500件以上の救急車及びドクターヘリによる搬送を受け入れており、南和地域の救急搬送応需率90%以上を確保し「断らない病院」として24時間、内科系医師及び外科系医師を配置し、救急医療の提供を行っている。また、奈良県全域をカバーするため運航管理室が置かれ、フライトドクター・フライトナースが常駐している。 <li data-bbox="564 607 1469 779">・へき地医療では、専任担当官が常駐し、拠点病院として巡回診療や代診医派遣を行っている。さらに、へき地診療所看護師が休暇取得等により不在となった際に、南奈良総合医療センターの看護師が診療所に赴き診療を支援する「へき地支援ナース」制度も、看護師の要請が進み軌道に乗りつつある。 <li data-bbox="564 801 1469 880">・感染症内科医師と感染管理認定看護師が院外の施設などへ出向き、新型コロナウイルスも含め感染対策について指導の取組も行っている。 <li data-bbox="564 902 1469 1171">・奈良県立医科大学、自治医科大学等の卒後臨床研修、総合診療専門研修や各専門医などの医師養成に力を入れており、臨床研修プログラム「南和まるごと研修」により全職員一丸となって研修医教育を実践した結果、令和2年度から令和6年度までの間に11名の臨床研修修了者を輩出し、うち4名が南奈良総合医療センターの総合診療専門研修専攻医として引き続き南和地域の医療に従事している。